

漢方製剤

劇薬(大入りのみ)、指定医薬品

オースギハ味地黄丸料エキスG

はち み じ おう がん
(八味地黄丸)

承認番号	(61AM) 第3901号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

貯法：室温保存
「取扱い上の注意」
の項参照
使用期限：容器又は外箱に表示

【組成・性状】

1)本剤は1日量7.5g中、下記生薬より抽出した水製乾燥エキス(八味地黄丸料エキス)4.6gを含有する。

日局 ジ オ ウ 5g	日局 ブクリョウ 3g
日局 サンシュユ 3g	日局 ボタンピ 3g
日局 サンヤク 3g	日局 ケイヒ 1g
日局 タクシャ 3g	加工ブシ 1g

添加物として、乳糖、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウムを含有する。

2)本剤は淡灰褐色～淡灰茶褐色の顆粒で、特異なおいがあり、味はわずかに苦く、酸味がある。

識別コード：SG-07

【効能又は効果】

疲れやすく、四肢が冷えやすく、尿量減少または多尿で、ときに口渇がある次の諸症：下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

(1)慎重投与(次の患者は慎重に投与すること)

- 1)体力の充実している患者[副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
- 2)暑がり、のぼせが強く、赤ら顔の患者[心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。]
- 3)著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等があらわれることがある。]
- 4)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者[これらの症状が悪化することがある。]

(2)重要な基本的注意

- 1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2)他の漢方製剤等を併用する場合には、含有生薬の重複に注意すること。ブシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

(3)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

①過敏症：発疹、発赤、痒痒等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

* ②肝臓：肝機能障害(AST(GOT)、ALT(GPT)、T-Bilの上昇等)があらわれることがある。

③消化器：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、便秘等があらわれることがある。

④その他：心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ等があらわれることがある。

(4)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため減量するなど注意すること。

(5)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[本剤に含まれるボタンピにより流早産の危険性があり、また加工ブシの副作用があらわれやすくなる。]

(6)小児等への投与

小児等には慎重に投与すること。[本剤には加工ブシが含まれている。]

【取扱い上の注意】

(貯法) 開封後は、吸湿性があるので、フタをよく閉めて保存すること。

【包装】

- 500g
- 735g (2.5g × 294包)
- 210g (2.5g × 84包)

【文献請求先】

大杉製薬株式会社 医薬情報部
〒558-0056 大阪市住吉区万代東2-1-33

発売元

大杉製薬株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2

製造元

高砂薬業株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2